

鳥類の鉛中毒防止に関する都道府県アンケート抜粋

(1) 非鉛製銃弾の使用に伴う課題

鉛製銃弾を使用しないことによって生じる問題が想定されるものがあれば、ご指摘ください。

①以下に該当するものがあれば、チェック（選択式）

非鉛製銃弾を使用することに伴う課題として、コスト高くなる点について指摘した都道府県は、44回答中21件、非鉛製銃弾が木材に残留することによる製材所の機械が破損することを懸念したのは44回答中13件であった。

	非鉛製銃弾のコストが高く、捕獲事業を発注する際の支障となる。	非鉛製銃弾が木材に残留することにより、製材の際に製材所の機械が破損する。
回答総数	該当数	該当数
44	21	13

②その他の鉛製銃弾の使用に伴う懸念として指摘された事項

殺傷能力が落ちることから、捕獲事業の効率低下が懸念される。

空港における航空航行証ファイの有害鳥獣捕獲をしている事業者から、威力の点で非鉛製銃弾の使用は控えたい旨の説明を聞いたことがある。

非鉛弾は命中率（捕獲率）が落ちるとの声を聞いたことがある（事実かどうか不明）